秋田市教育委員会
会 議 録

令和6年9月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和6年9月定例会会議録

1 日 時 令和6年9月26日（木曜日）
午後3時30分～午後4時25分

2 場 所 5-A会議室

3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員

4 出席職員 教育次長
教育次長
副理事兼総務課長
副理事兼生涯学習室長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室長
御所野学院高等学校長
御所野学院高等学校事務長
御所野学院高等学校教諭
総務課長補佐
学事課長補佐
総務課副参事
教育研究所副参事
学事課主席主査
総務課主査
総務課主任

5 議 題

【付議案件】

議案第13号 教育委員会事務の点検・評価に関する件

【教育長等の報告】

- (1) 令和7年度秋田市立御所野学院高等学校連携型中高一貫入学者選抜実施要項について
- (2) 令和6年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について

6 議 事 午後3時30分開会

【欠席の報告】

委員から定例会を欠席する旨の届出があったことについて、教育長が報告した。

【令和6年8月定例会会議録の承認】

令和6年8月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第13号 教育委員会事務の点検・評価に関する件

教育長 議案第13号「教育委員会事務の点検・評価に関する件」について、事務局から説明願う。

副理事兼総務課長 (資料に基づき説明)

委員 学識経験者からの意見をどのように反映し、現場に落とし込んでいくのか。

副理事兼総務課長 先ほどの説明では、主な意見についての対応を挙げたが、頂いた意見は、全部で45個ある。学識経験者からの意見を今後の教育委員会の事務に生かしていきたいと考えており、頂いた意見を参考にしながら、来年の点検・評価につなげていきたい。

委員 これからの施策に学識経験者の意見が反映されていくとい

うことか。

副理事兼総務課長 そのとおりである。来年もご意見を頂く際に、同じような意見を頂かないようにしていきたいと考えている。

全ての意見を反映できるわけではないが、できる限り、頂いた意見に沿うような形で対応していきたいと考えている。

教育長 学識経験者から頂いた意見を参考に実践し、また、次の年の点検・評価の際に実績として現れていくということを目指して進めていければ、PDCAサイクルが動いていくと考えている。

委員 ICT化やICTのテクノロジーを使った教育の充実という記述が多く見られる。既に文科省では中央教育審議会でも生成AIの議論をしており、来年になるともっと進んでくると思う。国の動向を見極めつつ、どんどん進んでいくICTをどのように本市の教育に生かしていくのかを念頭に置いて、来年も続けてほしいと思う。テクノロジーは、日進月歩どころか、日に日に変わってきているので、教育委員会や学校としての対応もこの点を念頭に考えていかなければいけない時期に来ていると思う。

学校教育課長 今年度、ICT活用サポート講習会を全ての学校で開催し、その中で生成AIの活用を先生方に体験してもらい、様々な校務に生かすように取り組み始めている。

教育長 生成AIを教育現場で活用するに当たり、国で大まかなガイドラインを示しているが、どのような内容か。

学校教育課長 国が示しているガイドラインは、生成AIは活用のメリットもあるが、著作権や年齢制限など、気を付けなければいけない部分があるということが示されている。また、どのように活用していけば良いかということを探っていく観点から活用が考えられる例も示されている。

委員 民間施設の活用や不登校に関して、医療や民間との連携などいろいろな意見があったが、指摘を頂いた部分は、全く取

り組んでいないということか。

教育長 例えば、不登校に関して、民間や医療など関係機関との連携は行っているのか。

学校教育課長 記載に足りない部分があるかもしれないが、連携は進めている。例えば、全ての職員に配布している「秋田市学校教育の重点」の中で連携先について紹介・周知している。不登校については、相談先を取りまとめたチラシを各家庭にも配布している。また、フリースクール等を活用している例もあり、活用状況を各校から報告してもらっている。中には、民間施設を利用していても出席扱いにしているケースもある。

教育長 生涯学習において、民間施設の活用については、今後の展開の幅として、どのように考えているのか。

副理事兼生涯学習室長 今のところは、施設の使用料などの問題があるため、公共施設の中でも、できるだけ多くの人目に触れるような図書館での展示や、県の生涯学習センターで市民サービスセンターと合同で展示会を行うなどの工夫をしている。ぽぽろードを利用してインスタグラム写真展を開催している部署もあるので、そうしたノウハウなども勉強しながら、生涯学習の成果を発表する場を設けていきたい。普段、施設を利用しない人にも、通りすがりに目を留めてもらえるような取組ができればと考えている。

教育長 今回の学識経験者の意見を生かして、今後の展開をさらに充実したものにしていきたいと考えている。

※ 議案第13号については、全員賛成により、議決された。

【教育長等の報告】

(1) 令和7年度秋田市立御所野学院高等学校連携型中高一貫入学選抜実施要項について

教育長 報告(1)「令和7年度秋田市立御所野学院高等学校連携型

中高一貫入学者選抜実施要項について」、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 昨年度から変更になった部分はあるか。

御所野学院高等学校長 変更はない。

委員 募集人員は24名であり、出願資格(1)と(2)のいずれかとのことだが、両方で出願できるのか。また、出願資格(1)と(2)に定員枠があるのか。

御所野学院高等学校長 昨年は、出願資格(1)に23名、(2)に1名の出願があり、出願資格ごとに可否を判断している。これまでは、出願者が24名を超えることがなかったため、この方法が可能であったが、今後については、検討していく予定である。

委員 試験日に新型コロナウイルス感染症に感染した場合、別日に追考査を実施するのか。

御所野学院高等学校長 新型コロナウイルス感染症流行の初期の頃は、期間を空けるなどの対応を行っていたが、現段階では、新型コロナウイルス感染症に感染していても別室で受験できるようになっている。今後どのような感染症が発生するか分からないが、感染しても受験機会を失わないような措置を取っている。追考査に関しては、県立の一般入試があるが、連携型入試は連携型入試として独立しているので、その機会を正當に与える意味で実施したいと考えている。

教育長 昨年度も状況に応じた対応をしていただいたように記憶している。

委員 受験に際して、特別な配慮を必要とする障がい等のある生徒と規定されているが、これまでに障がいのある生徒が出願したことはあるのか。もしあるとすれば、どのような対応をしたのか。

御所野学院高等学校長 実績としては、令和2年度に肢体不自由のため、特別支援学校から特別配慮申請があり、階段の上り下りに配慮して、

別室で受験を行った。そのような配慮申請が事前であれば、秋田市教育委員会と連絡を取り合い、万全に準備していきたいと考えている。

委員 実際に入学した場合の学校生活についても本人の状況を見ながら、秋田市教育委員会と話し合っていくということか。

御所野学院高等学校長 そのとおりである。

教育長 この件については、御所野学院高等学校以外の他の市立、県立高校においても、同様に当該中学校から申請を受けながら、各校で対応している。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 令和6年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について

教育長 報告(2)「令和6年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について」、事務局から説明願う。

教育研究所長 (資料に基づき説明)

教育長 児童生徒質問紙調査だが、昨年度と比較し、今年度の質問の内容に変更はあるか。

教育研究所長 今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する質問がなくなり、ICTに関するものが少し増えた。また、中学校の質問調査においては、部活動に関する質問がなくなった。

教育長 「ICTの活用について」だが、4つの質問項目の結果を見ると秋田市の子どもたちは好意的に捉えているように思うが、前年度までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用した子どもの割合が、全国に比べて低いことをどう捉えているか。

教育研究所長 令和3年度の小学校6年生のときの結果と比較をすると、タブレットの活用回数に関しては、格段の伸びが見られる。
学校質問紙調査においては、もう少し高い数値である。各校において、PC・タブレットだけではなく、電子黒板など

のICT機器を活用している結果と捉えているが、もう少し伸びがほしいところである。

教育長 昨年度と比較すると、伸びている傾向が見られるということか。

研究所長 昨年度と比較すると、ほぼ同等である。

委員 ICT機器を週1回以上使う学校は、増えてきているのか。

教育研究所長 研修に参加する先生方からは、ICTの良さに関する声を聞くことが増えてきた。最初は、使わなければいけないというような感じであったが、徐々に、ICTの活用が効果的であると感じる先生方が増えてきたように思う。学校訪問等で各校を訪問した指導主事によると、先生方がコラボノートで意見交換をする姿が見られるなど、活用が進んできていると捉えている。

学校教育課長 学校訪問をしている指導主事から、タブレットの活用が進んできているという報告を受けている。また、学校教育課でも5月に教員を対象に教育活動の状況等に関する調査を行っている。これによると、小学校6年生、中学校3年生の先生方に対する調査では、タブレット端末に関しては、全ての学校で、毎日あるいは週に数回活用しているという調査結果も出てきているので、4月調査では子どもたちからこのような結果が出てきているが、先生方の方でも使わせようという意識をしっかりと持って、取り組んでいただいているものと考えられる。

委員 「人との関わりについて」の「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている子どもの割合」で「思う」と回答した子どもの割合が、中学生では全国平均を10ポイント上回っているが、これは何が影響しているのか。

教育研究所長 この質問項目は、言い回しは変わるが、毎年のように出されているものである。昨年度も同様に高い数値で、国を上回る結果だった。地域との合同の活動や、各校におけるキャリ

ア教育などが充実していることも影響していると考えている。

また、本市が目標としてきた、志を持ち、徳・知・体の調和がとれた子どもをはぐくむ教育を進めてきた成果であると考えている。

学校教育課長

学校教育課の事業では、中学生サミットを行っており、ここ3年間ほど「CORE」をテーマとし、学校や地域に誇りと愛着を持っていこうということで、地域の良さ等を生徒が集まって話し合う活動をしている。また、去年は、学校や地域の良いところを写真に撮り、フォトギャラリーを行ったり、各校で挨拶運動を実施したりしている。

委員

中学生サミットは、テーマが決められ、生徒会で事前にどのようにしてサミットに参加しようかなどの議論をした上で参加していると思う。地域社会のことをいろいろと議論してきていると思うので、それがサミットで発表の場になっていると感じた。

教育長

算数・数学ともに各領域ごとに見ても全国平均を大きく上回っていて、そのこと自体は全体としては良い傾向にあり、大変うれしいことだと思う。学習指導改善のための今後の方策について、数学的な表現を用いて説明する活動が大事だということが、各領域において示されている。実際に問題が解ける、解答を導き出せるだけではなく、自分はどう考え、どのような論理で問題を解いたかということを経験できる、説明できるということだと思うが、この充実を図っていくために、どのように考えているか。

教育研究所長

算数・数学については、理解できているものの、説明不足で誤答になる例が多く見られた。例えば、算数の「課題となっている問題例」にあるが、1か2のどちらかを選び、その選んだ理由を言葉や数字を使って、数学的な表現で書くという問いだが、解答が途中で終わってしまう子どもたちが非常に多かった。不足なく書き表すという力も、身に付けていか

なければいけないと考えている。

教育研究所副参事 学校訪問の教科の協議会において、説明する力や表現する力を高めるということを協議題とする学校が多くある。今の
ような例などを紹介しながら、過不足なく説明すること、また、子どもたちに投げ掛けながら、どういった説明が適切な
のかを考える場として充実させるかなどを学校訪問において話しているところである。

教育長 是非、今後も続けていただきたい。

委員 「人との関わりについて」の2つ目だが、全国平均は上回
っているが、あまり高くないという印象を持っている。過去
にも同じような質問があったのか。また、あったのであれば、
経年比較を教えていただきたい。

教育研究所長 この質問は、令和4年からのものである。おそらく新型コ
ロナウイルス感染症の拡大等の時代背景からのものとする。小
学校では令和4年が76%、令和5年が74%、令和6年
が70%であり、中学校では令和4年が72%、令和5年が
75%、令和6年が72%である。この質問は、本市でも大
切だと考え、令和4年から公表資料の中に経年で捉えている。
全国平均は上回っているが、相談できないといった子どもた
ちについては、学校に個票が戻るのも、そのような子どもた
ちに個人的に声を掛けるなどの対応に活用していただきたい
と校長会等で話をしている。

教育長 相談できると回答していない30%の子どもたちへの対応
が大事だと思う。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 今後の日程についてお知らせする。10月定例会について
は、10月24日木曜日午後3時30分から開催する予定で

ある。

教育長

10月定例会は、10月24日木曜日午後3時30分から
開催予定とのことである。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時25分閉会